

京都北部の魅力ある観光地域「海の京都」 づくりについて

【担当省庁】国土交通省、観光庁

京都府北部地域の観光圏整備実施計画の認定と「観光地域 ブランド確立支援事業」等への採択

- ◆ 京都府では、平成 26 年度の京都縦貫自動車道等の開通による府北部地域への交通アクセスの飛躍的向上を見据え、「海の京都」という統一テーマのもと、府北部地域の魅力ある観光地づくりを目指し、「海の京都観光圏」整備実施計画を申請することとしているため、これを認定していただきたい。
- ◆ 「海の京都」づくりでは、観光地の景観整備や観光施設のリニューアル、マーケティングや観光プロモーションなどのハード、ソフト事業を集中的に実施しているところであり、「観光地域ブランド確立支援事業」や「観光地ビジネス創出の総合支援事業」の予算を確保していただくとともに、京都府の事業を採択していただきたい。

<観光庁の概算要求>

◎観光地域ブランド確立支援事業 2. 8 億円

国際競争力の高い魅力ある観光地域づくりを促進するため、認定観光圏を対象に、地域独自の「ブランド」の確立を通じた滞在交流型観光の推進に向けた取組を支援する。

◎観光地ビジネス創出の総合支援 6. 0 億円（新規）

地域の資源を活用した旅行商品開発、観光地の担い手育成、自立的経営への誘導などにより観光地づくりをビジネスにつなげる取組を支援する。

現状・課題等

- ◎ 京都府の事業：「海の京都」観光推進事業費（平成 25 年度京都府当初予算 81, 500 千円（一般財源））

- ・観光関連施設の外装改修等の修景の助成
- ・「海の京都観光推進協議会」を通じた観光プロモーション等

海の京都 ～丹後・中丹 魅力ある観光まちづくり～

「海の京都」構想 (3月26日策定)

- ▶ 日本海に面する府北部地域は、古代より、大陸との交流の窓口として栄え、日本の国生み神話の重要な舞台となった、いわば『もうひとつの京都』
- ▶ 平成26年度までに京都縦貫自動車道や北近畿タンゴ鉄道の再生、京都舞鶴港の整備進捗により、陸路・海路双方からの人・ものの流れが飛躍的に増大
- ▶ 府北部地域を全国有数の競争力のある観光圏にするため、海の京都というインパクトのあるキャッチフレーズのもと、ソフト・ハードの集中投資を総合的・計画的に実施

1 基本戦略

- ▶ 地域の人たち自身が愛し大切にしたいくなる統一感のあるまちづくり
- ▶ 地域主導の持続可能な観光振興
- ▶ 観光産業・サービス業等による雇用創出
- ▶ 若者をはじめとする人口定着

2 行動原則

- ▶ 「民主導」の徹底
- ▶ 「デザイン」の重視
- ▶ 「集中とネットワーク」戦略の展開
- ▶ 「オンリーワン・高品質・ほんもの」の追求

3 各市町の戦略拠点

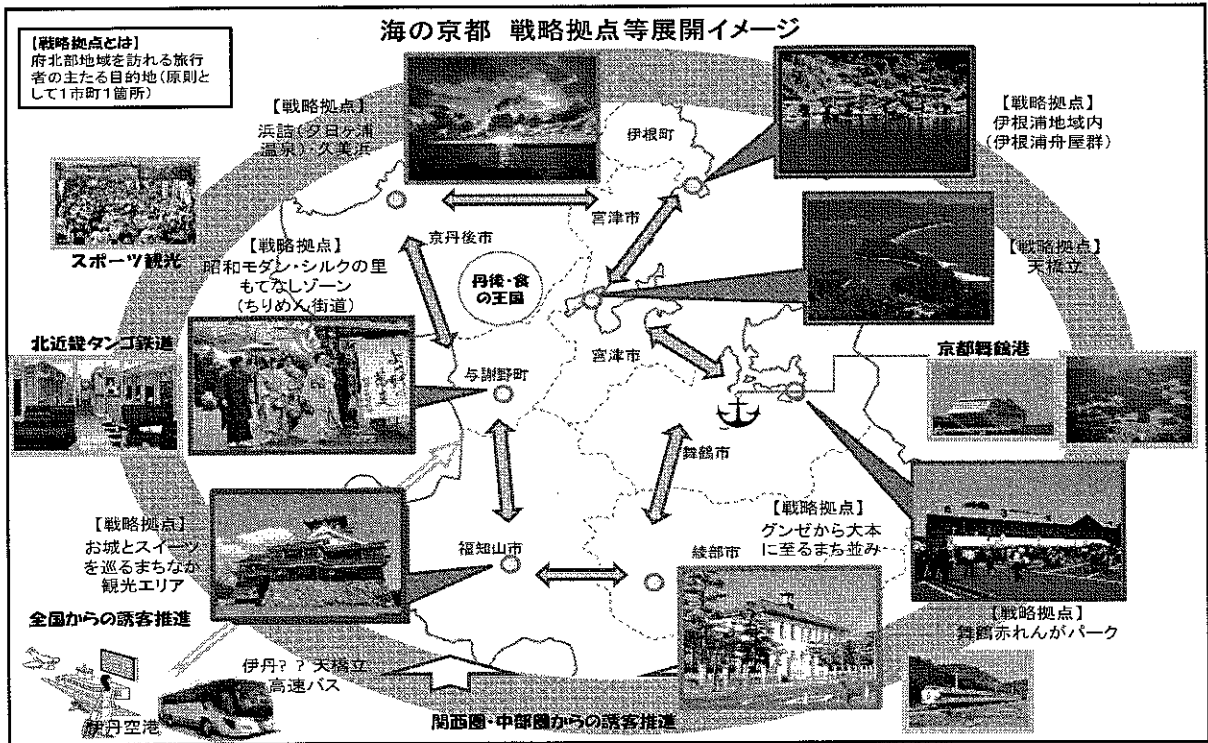
- ▶ 福知山市：お城とスイーツを巡るまちなか観光エリア
- ▶ 舞鶴市：舞鶴赤れんがパーク周辺一帯
- ▶ 綾部市：グンゼから大本に至るまち並み
- ▶ 宮津市：天橋立
- ▶ 京丹後市：浜詰（夕日ヶ浦温泉）・久美浜エリア
- ▶ 伊根町：伊根浦地域内（伊根浦舟屋群を中心に整備）
- ▶ 与謝野町：昭和モダン・シルクの里もてなしゾーン

4 戦略拠点における観光まちづくり

- ▶ まちづくり委員会等を設置し、マスタープラン等を策定
- ▶ プロのデザイナーによるアドバイスの実施や色使いの統一等を行い、景観デザイン等にこだわった整備を推進
- ▶ 民間施設は、景観形成に資する観光関連施設の外装改修等の修景補助金等を活用
(府補助金) 補助率 15%, 補助上限額 500万円

5 推進体制

- (1) 海の京都実践会議【平成25年2月設置】
▶ 内外の民間事業者、経営専門家等（事務局・府計画推進課）
- (2) 海の京都観光推進協議会【丹キャンを再編拡充】
▶ 地元自治体及び観光関連団体等（事務局・府観光連盟）
- (3) 海の京都プロジェクトチーム【平成24年11月設置】
▶ 京都府、北部地域の市町で構成（事務局・府計画推進課）



【京都府の担当部局】

商工労働観光部 観光課 075-414-4854